

中小企業景況調査報告書

(第130回)

平成25年 4 ~ 6 月期 実 績

平成25年 7 ~ 9 月期 見通し

平成25年7月

北海道商工会議所連合会

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	2
2. 調査対象	2
3. 調査地域及び調査方法	2
4. 業種別・規模別回答状況	2

II. 概 況

1. 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2. 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成25年6月
- (2) 調査対象期間 平成25年4～6月期実績及び平成25年7～9月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	42	58	41	65	72	278
中規模	16	13	20	13	25	87
合計	58	71	61	78	97	365
構成比(%)	15.9	19.4	16.7	21.4	26.6	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 36社、建設業 21社、卸売業 12社、
小売業 20社、サービス業 48社、合計137社

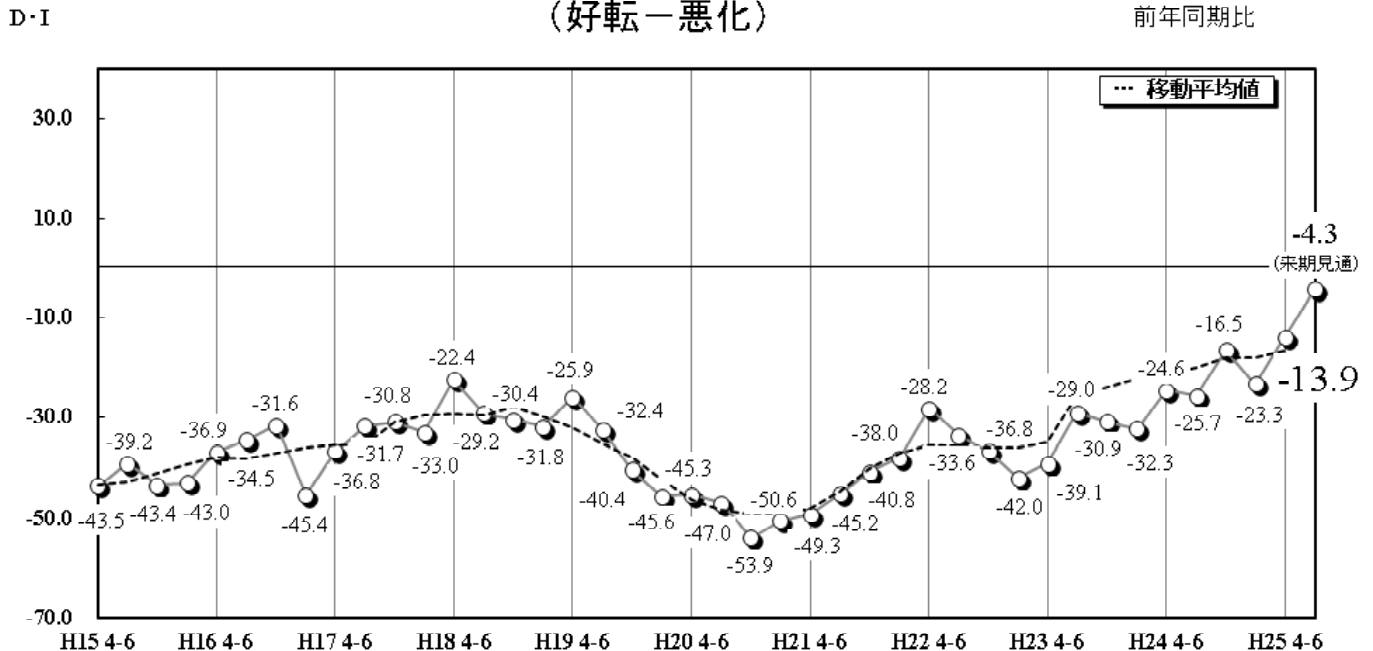
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

Ⅱ. 概 況

- 4業種で持ち直しの動き、特に建設業の業況D・Iはプラスに好転 -

業況推移（全業種平均D・I）
（好転－悪化）



今期の業況

今期（4月～6月期）の中小企業景況調査における全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成24年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 13.9と前回調査より、9.4ポイントマイナス幅を縮小した。

来期の業況見通しは、4.3とマイナス幅をさらに縮小する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 15.8 今回 21.4)、建設(前回 22.6 今回4.3)、卸売(前回 26.3 今回 9.8)、小売(前回 35.5 今回 29.0)、サービス(前回 16.3 今回 13.8)と、製造業を除く4業種でマイナス幅が縮小。特に建設業では、公共工事の増加等の影響により、4.3とプラスに好転した。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、依然として全業種で「需要の停滞」（製造業27.1%、建設業18.8%、卸売業33.9%、小売業23.5%、サービス業20.8%）が依然として大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」（33.3%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（20.2%）、卸売業

では「仕入単価の上昇」(18.8%)、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」(16.2%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(23.4%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で14.4%と、前回調査時(12.1%)より2.3%上昇と、前回より設備投資を動きが見られる。また来期の設備投資予定については、14.6%とほぼ横ばいで推移する見通し。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 21.4(来期見通し 9.1)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成25年1月~3月期)時点からの推移では、前回 15.8 今回 21.4と5.6ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 9.1とマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・売上増加傾向にあるも、円安による仕入単価上昇で収益面好転せず。(木製品製造)
- ・地域の空洞化が進み、内需も減少している。円安による海外需要の捕捉に期待。(金属部品製造)
- ・原材料の高止まりに加え、電気料金の値上がりによるコストの増加が収益を圧迫している。
(菓子製造業)
- ・天候悪化や不漁による原材料の不足に伴い、原材料費が値上げする中で、製品売価への転嫁が十分にできず、苦戦している。(水産加工業)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 4.3(来期見通し16.4)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成25年1月~3月期)時点からの推移では、前回 22.6 今回4.3と26.9ポイント改善し、プラス域に好転した。

来期は16.4とさらに改善する見通し。

〔主なコメント〕

- ・先行への期待感はあるが、ヒトやモノ不足、建築資材価格の上昇等、予断を許さない状況。(建設業)
- ・前年同期に対して売上は増加したが、資材価格も上昇したため、利益の確保が今後の課題。
(一般工事)
- ・公共事業の受注に対して技術・技能を持つ人員や、重機等機材の不足が深刻であり、公共事業を受注したくてもできないという企業も出始めている。(一般工事)
- ・来年度消費税率引き上げに伴い、住宅の新築・リフォームの駆け込み需要が期待できるものの、その反動を不安視する声が多い。(木造建築工事業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 9.8（来期見通 5.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成25年1月～3月期）時点からの推移では、前回 26.3 今回 9.8と16.5ポイントマイナス幅が縮小した。
来期は 5.2とマイナス幅をさらに縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・売上は前年度よりも増加してはいるが、採算はあまり変わらない。(建築資材卸)
- ・消費税引き上げの前に増改工事を終えたいとの願いから見積り依頼が増加しているので年内の見通しは良い。(建築材料卸売業)
- ・前年同期に対する売上はやや上昇したが、利益は横ばい状態である。理由として、輸入品を中心に仕入価格が上昇した事が挙げられる。(農業資材卸)

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 29.0（来期見通 19.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成25年1月～3月期）時点からの推移では、前回 35.5 今回 29.0と6.5ポイントマイナス幅が縮小した。
来期は 19.2とマイナス幅をさらに縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・円安の影響でパソコンの仕入単価が2割程度上昇した。(事務用品小売)
- ・前年同期に対して売上、利益は共に減少傾向にある。理由として、市内で大型店舗が開業してから1年がたち、生鮮食品について顧客の流れが変わったため。(鮮魚小売)
- ・円安による原油価格の上昇が止まず、仕入価格の上昇がしていることに加え、低燃費車の増加により、販売数量は減少傾向にあり厳しい状況。(燃料小売業)
- ・営業者や店員の高齢化が進んでいる。アルバイトやパートとして若い従業員を使いたいのが、資金難の為雇うこともできず、今後の経営が更に困難になることが予想される。(小売業)

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 13.8（来期見通 4.4）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成25年1月～3月期）時点からの推移では、前回 16.3 今回 13.8と2.5ポイントマイナス幅が縮小した。
来期は 4.4とマイナス幅をさらに縮小する見通し。

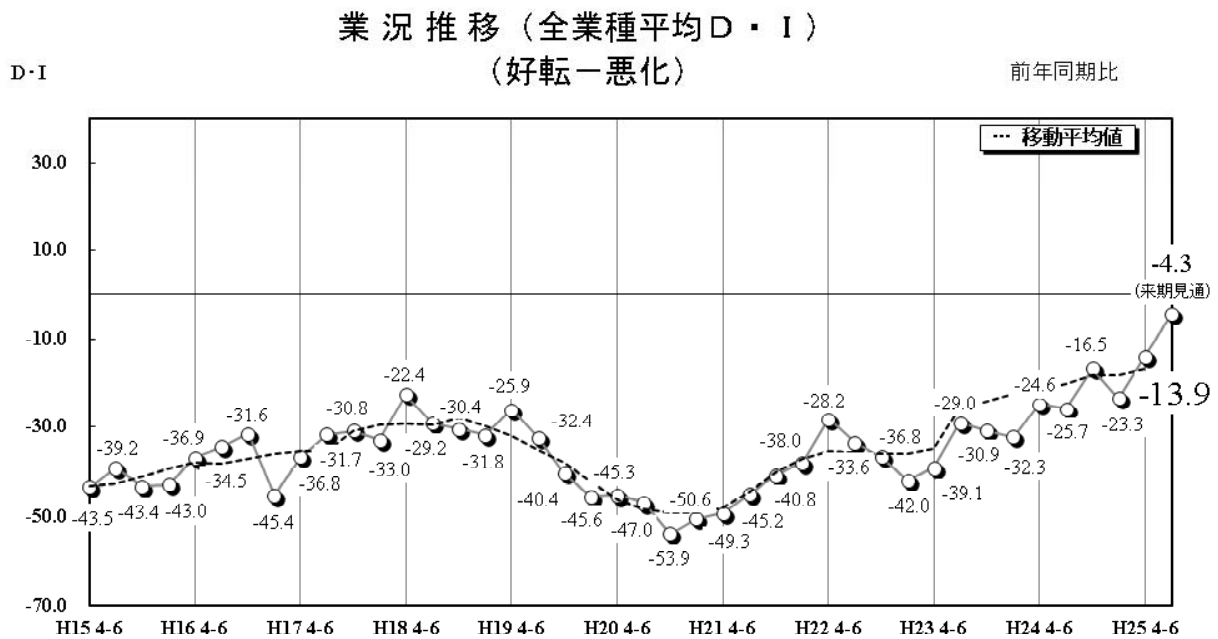
〔主なコメント〕

- ・仕入価格の上昇に加え、大手チェーンの進出が続き、個人経営は非常に厳しい状況。(飲食業)
- ・新規人材を募集しているが、若年層の動向が鈍いように感じられる。(飲食業)
- ・円安の影響もあり、原油価格が高止まりしているのに対し、低価格で請け負う市外同業者の参入もあり、価格競争により利益が圧迫されている。(運送業)
- ・ガス料金が昨年より値上となり、光熱費は大きな負担となっている。また、依然として、お客様の低額志向は強い。(ホテル)

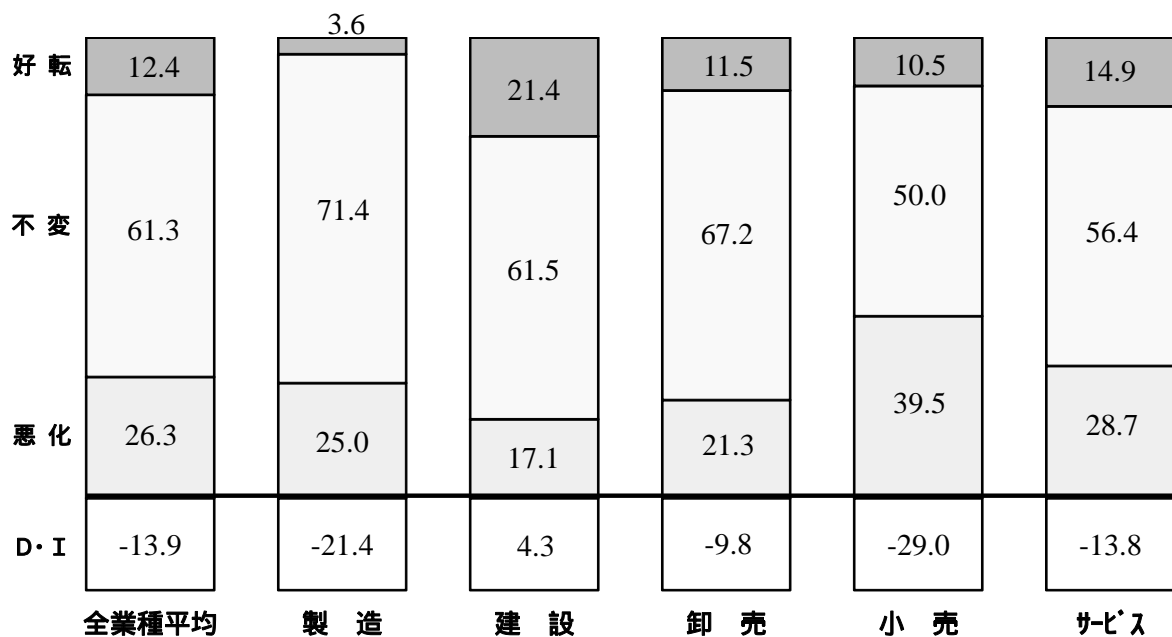
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成24年 4～6月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

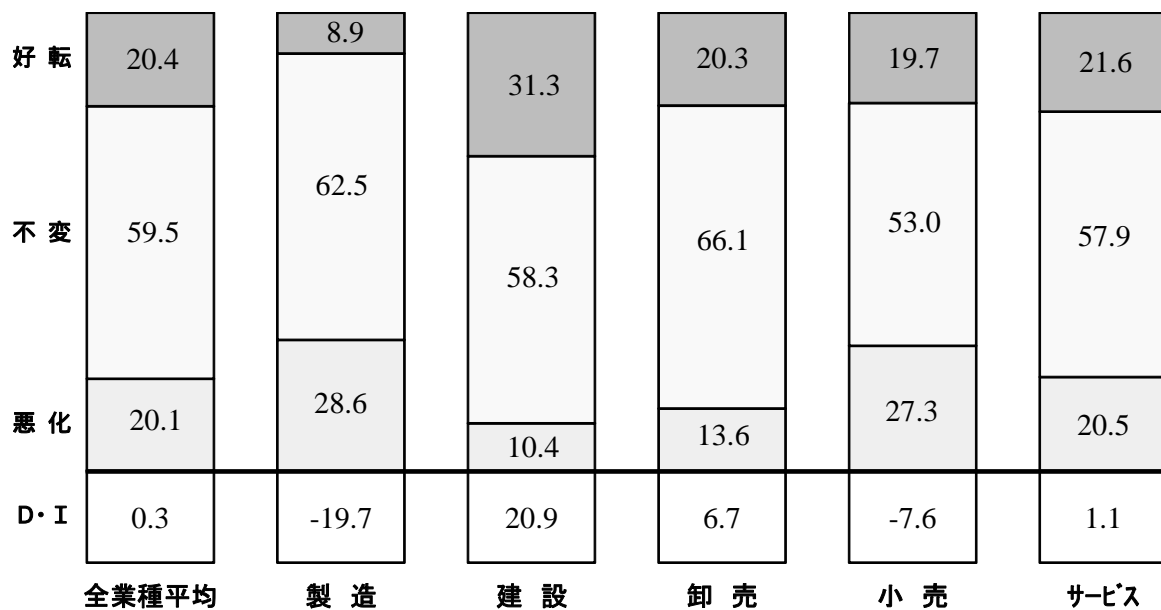


全業種平均でD・I値 13.9〔前回調査時（平成25年1～3月期 23.3）より9.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 15.8 21.4〕、建設〔前回 22.6 4.3〕
卸売〔前回 26.3 9.8〕、小売〔前回 35.5 29.0〕
サービス〔前回 16.3 13.8〕

【前期比】（平成25年1～3月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況(前期比)

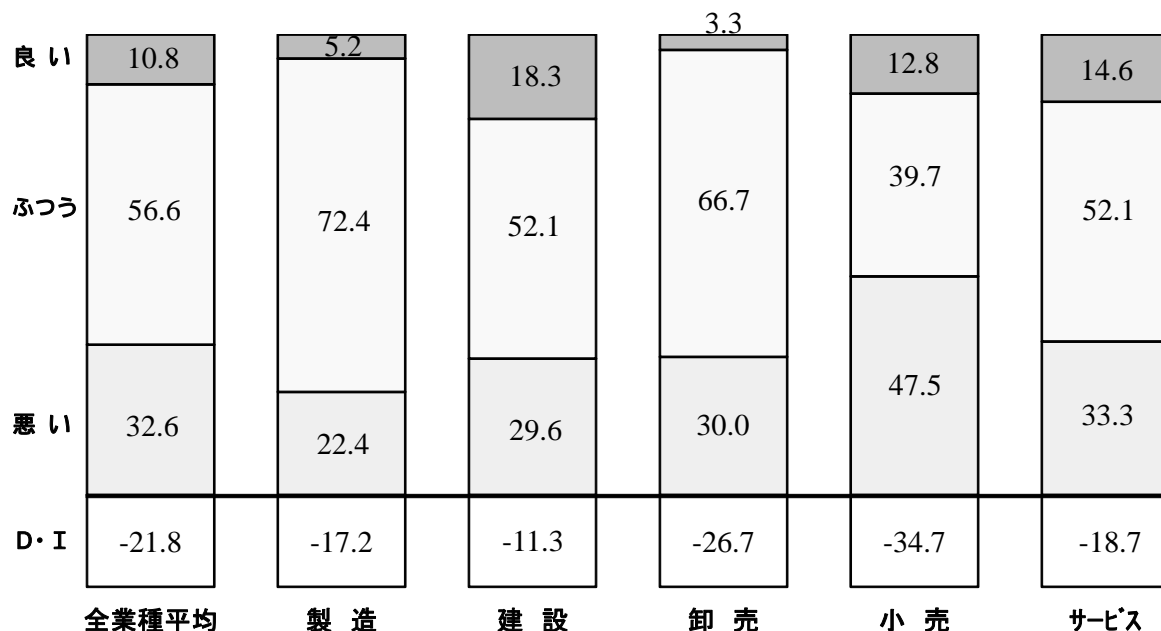


全業種平均でD・I値 0.3〔前回調査時（平成25年1～3月期 26.1）より26.4ポイント改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 20.8 19.7〕、建設〔前回 12.9 20.9〕
卸売〔前回 40.0 6.7〕、小売〔前回 37.7 7.6〕
サービス〔前回 19.2 1.1〕

【今期の水準】

今期の業況(今期の水準)

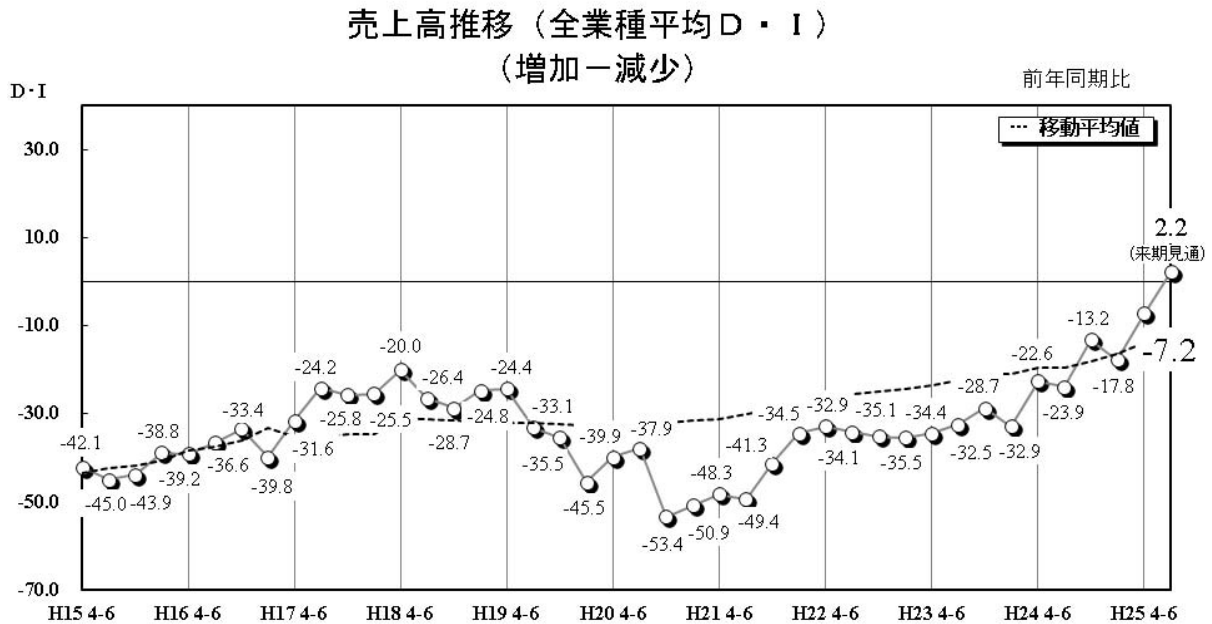


全業種平均でD・I値 21.8〔前回調査時（平成25年1～3月期 28.9）より7.1ポイントマイナス幅が縮小〕。

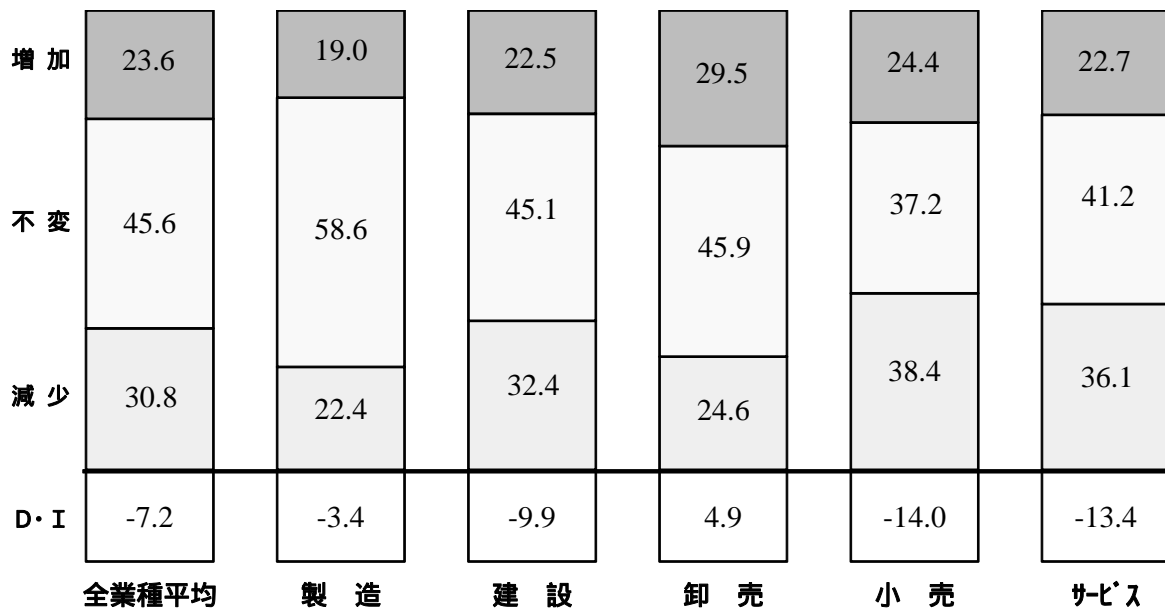
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 16.9 17.2〕、建設〔前回 21.1 11.3〕
卸売〔前回 45.9 26.7〕、小売〔前回 39.5 34.7〕
サービス〔前回 21.0 18.7〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成24年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高(前年同期比)

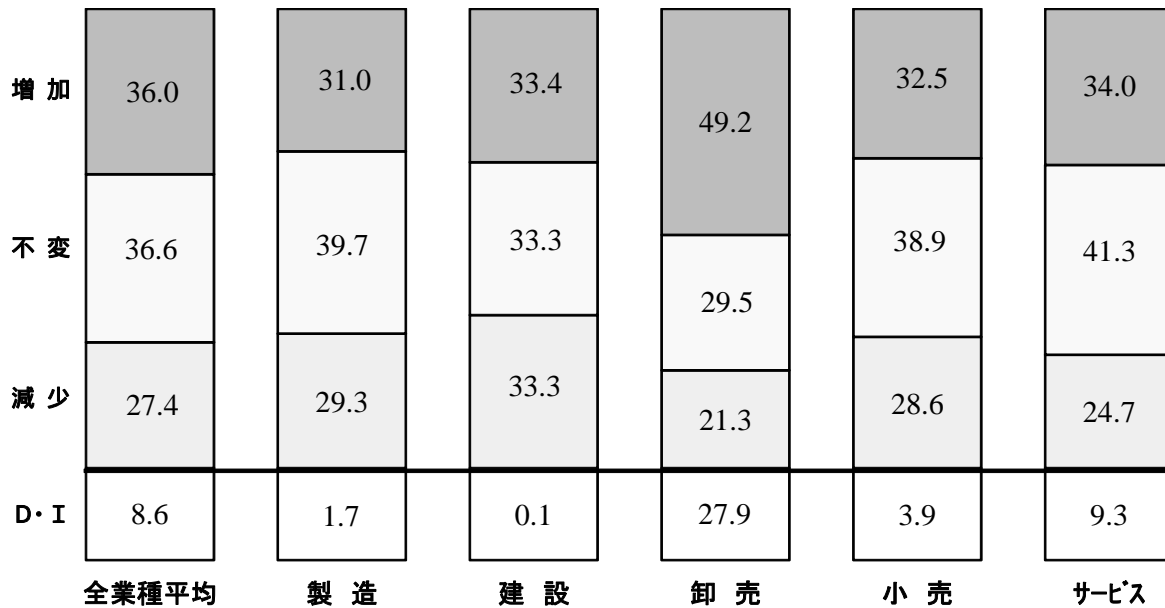


全業種平均でD・I値 7.2〔前回調査時（平成25年1～3月期 17.8）より10.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 15.3 3.4〕、建設〔前回 14.1 9.9〕
卸売〔前回 22.6 4.9〕、小売〔前回 19.2 14.0〕
サービス〔前回 17.9 13.4〕

【前期比】（平成25年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高(前期比)



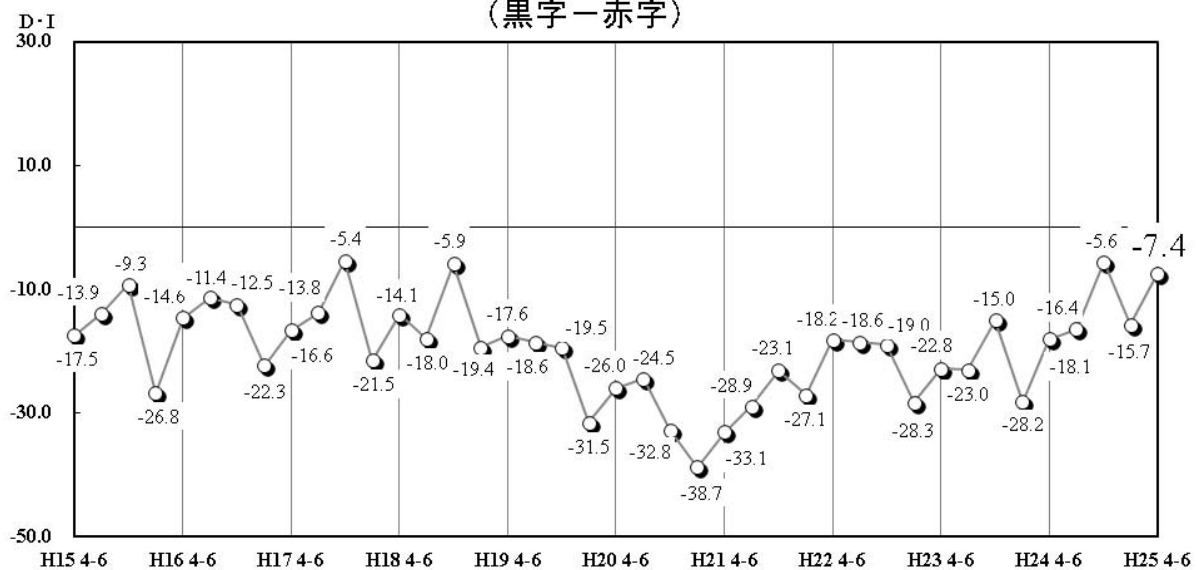
全業種平均でD・I値 8.6〔前回調査時（平成25年1～3月期 33.2）より41.8ポイント改善〕。全ての業種において、プラス域に転じる結果となった。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.1 1.7〕、建設〔前回 21.1 0.1〕
卸売〔前回 48.4 27.9〕、小売〔前回 41.5 3.9〕
サービス〔前回 23.9 9.3〕

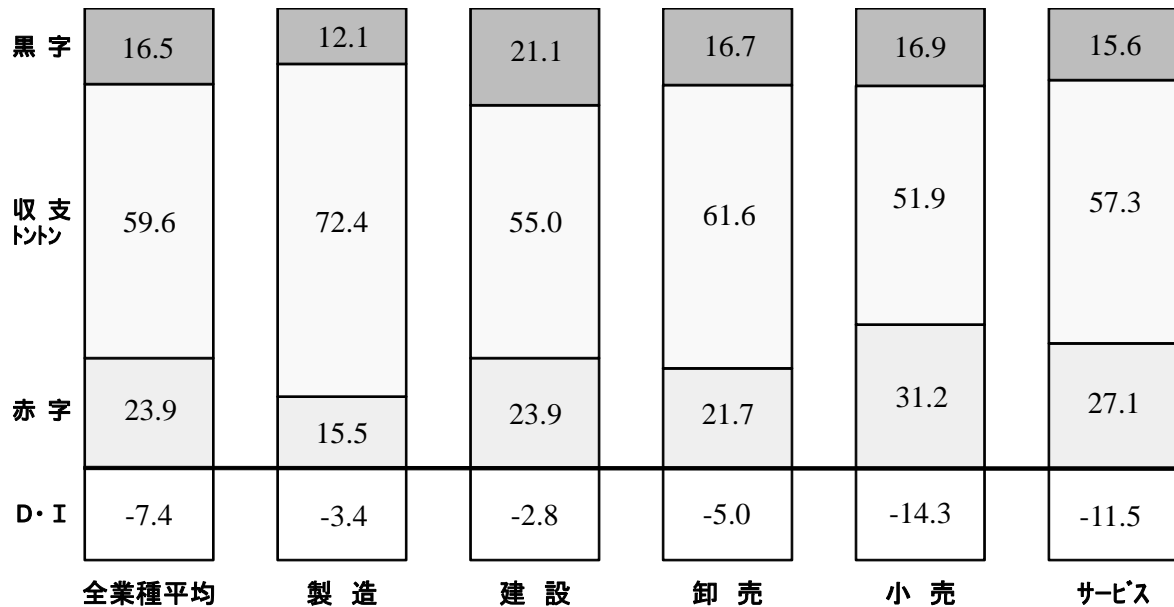
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】

採算推移（全業種平均D・I）
（黒字－赤字）



今期の採算(今期の水準)

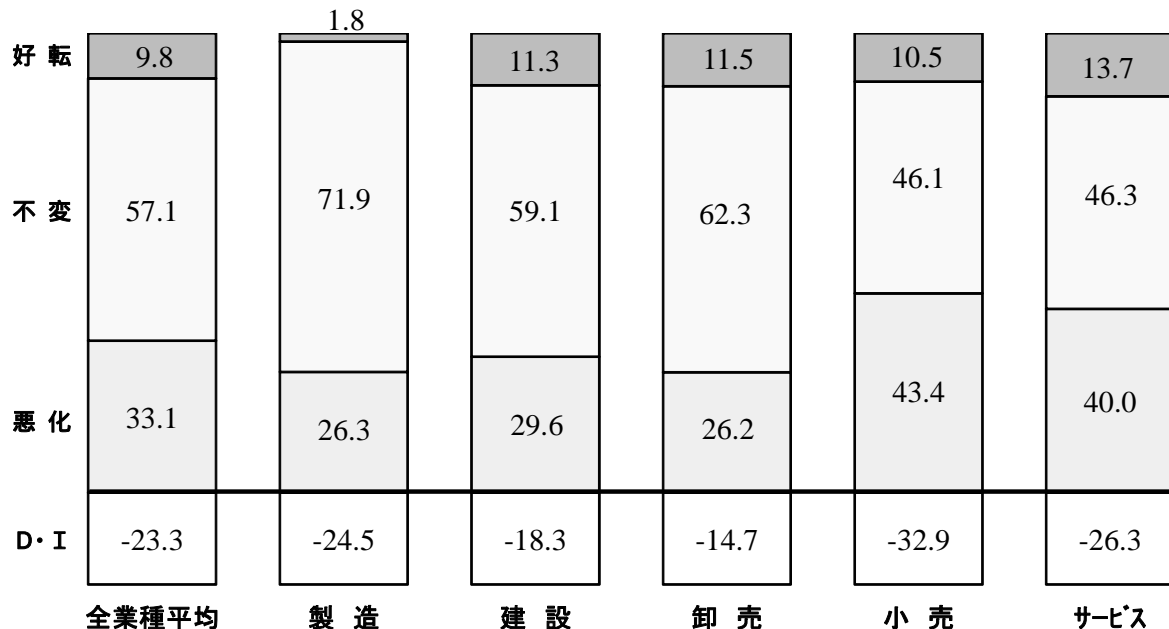


全業種平均でD・I値 7.4〔前回調査時(平成25年1~3月期 15.7)より8.3ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 19.0 3.4〕、建設〔前回 2.8 2.8〕
卸売〔前回 23.3 5.0〕、小売〔前回 24.3 14.3〕
サービス〔前回 9.4 11.5〕

【前年同期比】(平成24年4~6月期の水準と比較した今期の採算)

今期の採算(前年同期比)



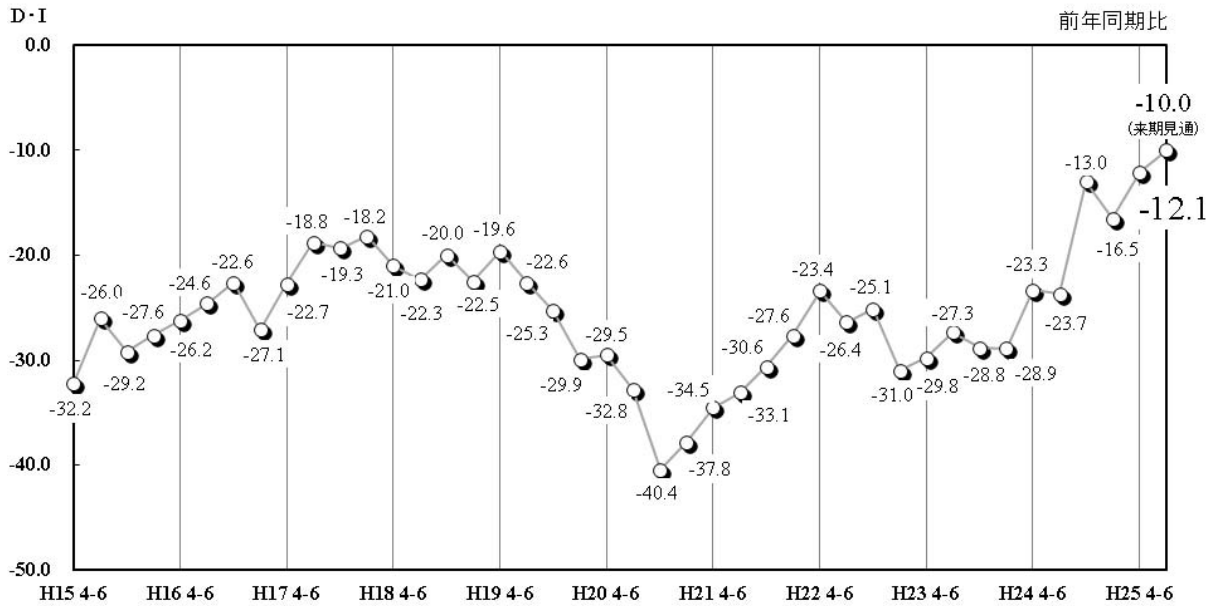
全業種平均でD・I値 23.3〔前回調査時(平成25年1~3月期 25.5)より2.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 20.7 24.5〕、建設〔前回 15.9 18.3〕
卸売〔前回 29.0 14.7〕、小売〔前回 40.8 32.9〕
サービス〔前回 21.1 26.3〕

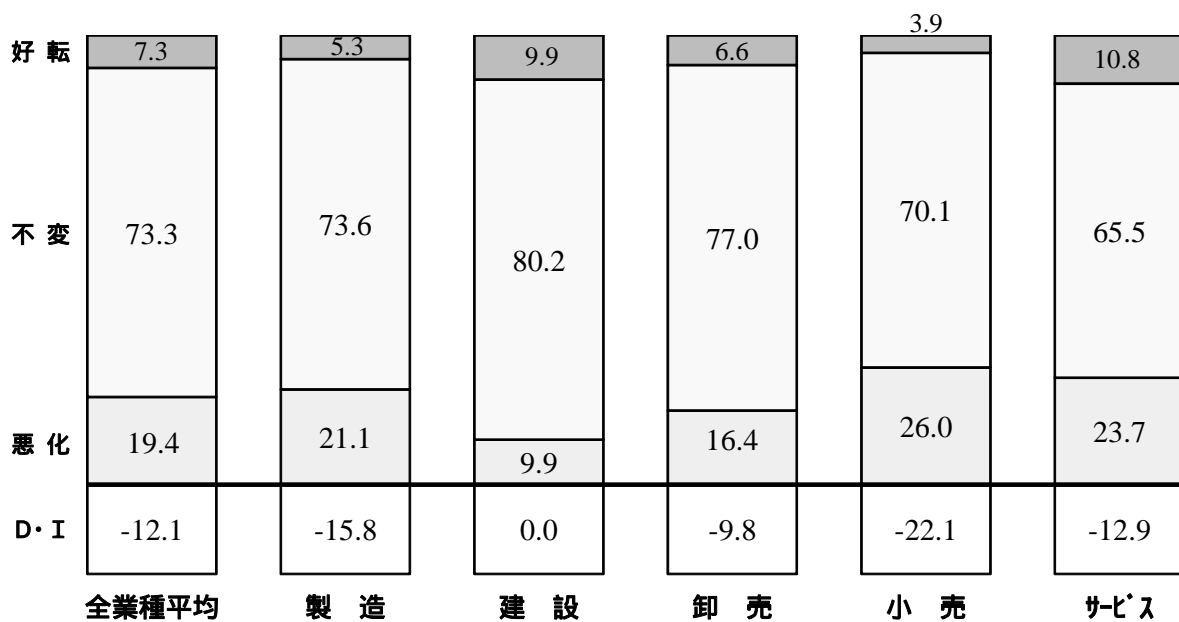
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成24年4～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移(全業種平均D・I)
(好転－悪化)



今期の資金繰り(前年同期比)



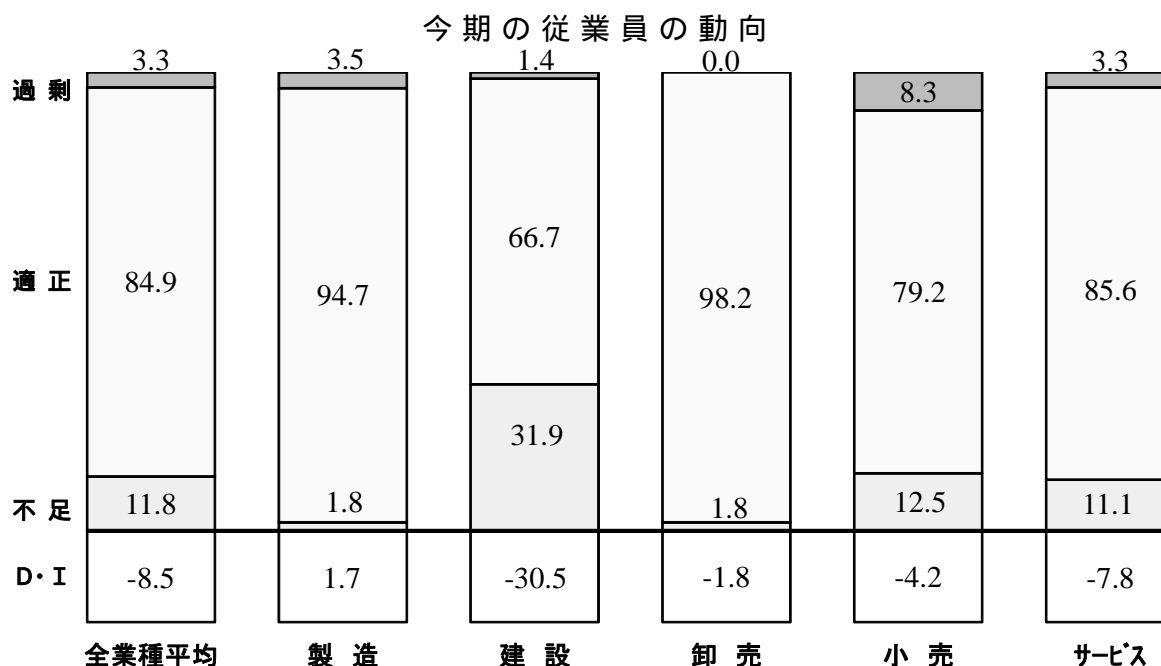
全業種平均でD・I値 12.1〔前回調査時(平成25年1～3月期 16.5)より4.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

[業種別D・I値] 製造〔前回 5.1 15.8〕、建設〔前回 14.1 0.0〕
卸売〔前回 24.2 9.8〕、小売〔前回 23.4 22.1〕
サービス〔前回 15.6 12.9〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「原材料価格の上昇」	(33.3%)	[前回 20.5%]
	「需要の停滞」	(27.1%)	[前回 40.9%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(8.3%)	[前回 9.1%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(20.2%)	[前回 20.1%]
	「材料単価の上昇」	(18.8%)	[前回 10.0%]
	「官公需要の停滞」	(9.4%)	[前回 16.7%]
	「民間需要の停滞」	(9.4%)	[前回 10.0%]
卸売業	「需要の停滞」	(33.9%)	[前回 48.9%]
	「仕入単価の上昇」	(18.8%)	[前回 11.8%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(11.3%)	[前回 9.8%]
小売業	「需要の停滞」	(23.5%)	[前回 29.7%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(16.2%)	[前回 14.1%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(13.2%)	[前回 10.9%]
サービス業	「利用者ニーズの変化への対応」	(23.4%)	[前回 19.0%]
	「需要の停滞」	(20.8%)	[前回 25.2%]
	「材料等仕入価格の上昇」	(14.3%)	[前回 3.8%]

(6) 今期の従業員の動向

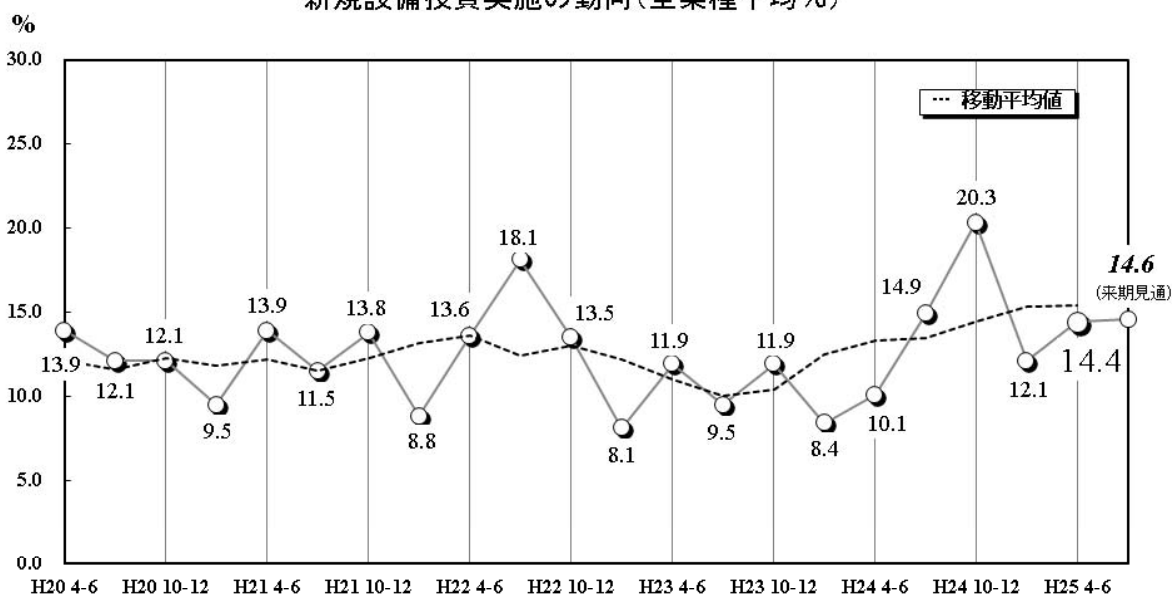


全業種平均でD・I値では▲8.5〔前回調査時（平成25年1～3月期 7.6）〕と、前回調査時に比べ建設業・小売業・サービス業で従業員が不足と回答する企業が増えている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 7.6 8.5〕（適正84.9%）
 建設〔前回 21.8 30.5〕（適正66.7%）
 卸売〔前回 8.6 1.8〕（適正98.2%）
 小売〔前回 0.0 4.2〕（適正79.2%）
 サービス〔前回 7.5 7.8〕（適正85.6%）

(7) 今期の新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	17.9	20.0	6.8	9.7	17.7	14.4
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	1.2
工場建物、建物、店舗	10.0	14.3	25.0	14.3	5.9	13.9
生産・販売・サービス設備、建設機械	30.0	14.3	0.0	0.0	35.3	15.9
車両運搬具	20.0	57.1	50.0	71.4	29.4	45.6
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	21.4	0.0	0.0	29.4	14.2
OA機器	30.0	50.0	25.0	28.6	35.3	33.8
厚生施設	0.0	14.3	0.0	0.0	11.8	5.2
その他	10.0	0.0	0.0	28.6	17.6	11.2
実施していない	82.1	80.0	93.2	90.3	82.3	85.6

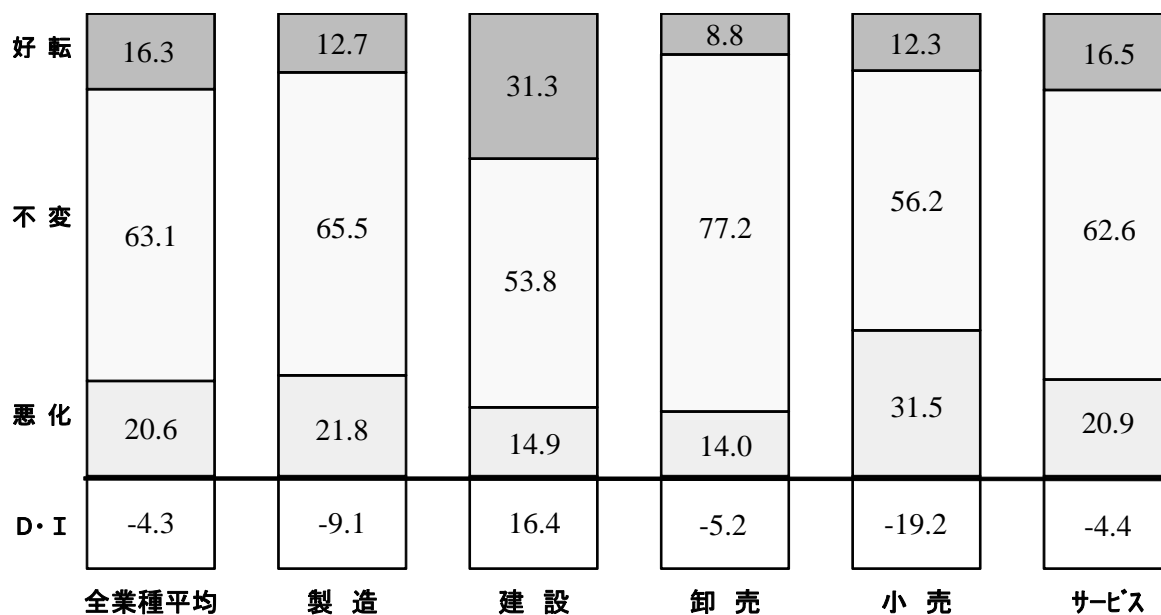
新たに設備投資を実施した企業は平均で14.4%〔前回調査時(平成25年1~3月期12.1%)〕、業種別では製造〔前回14.0% 17.9%〕、建設〔前回15.7% 20.0%〕、卸売〔前回11.5% 6.8%〕、小売〔前回5.4% 9.7%〕、サービス〔前回13.8% 17.7%〕と、卸売業を除く4業種において、前回調査に比べ設備投資を実施した企業は増加した。

2. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成24年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

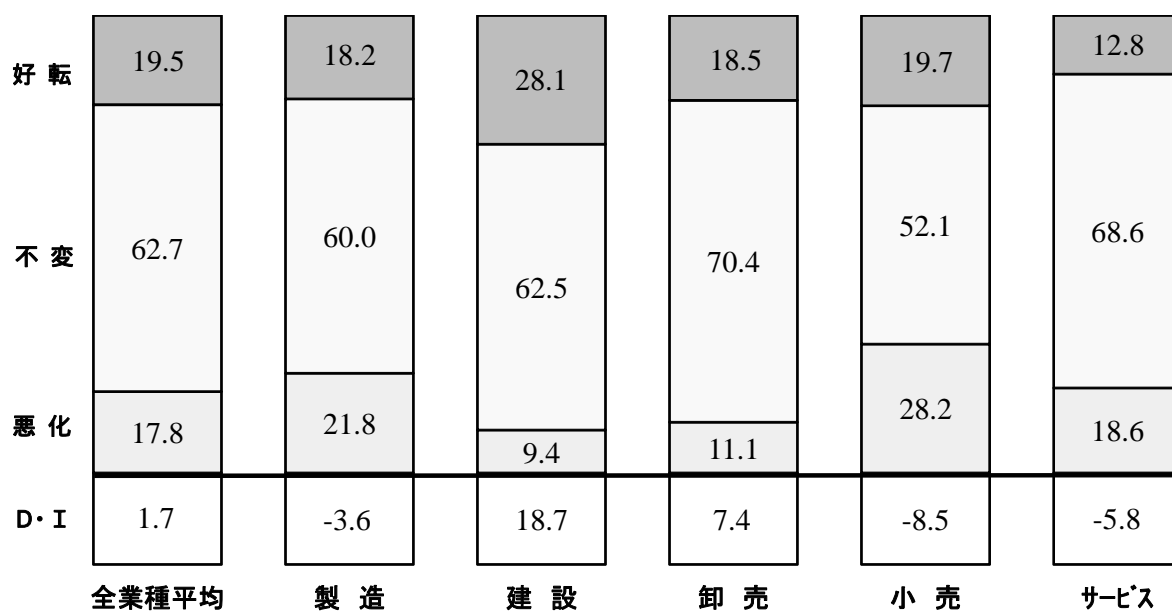
来期の業況見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 4.3〔今期の業況（前年同期比 13.9）より9.6ポイントマイナス幅が縮小〕と、さらに持ち直しの動きが見られる。

【今期比】（平成25年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

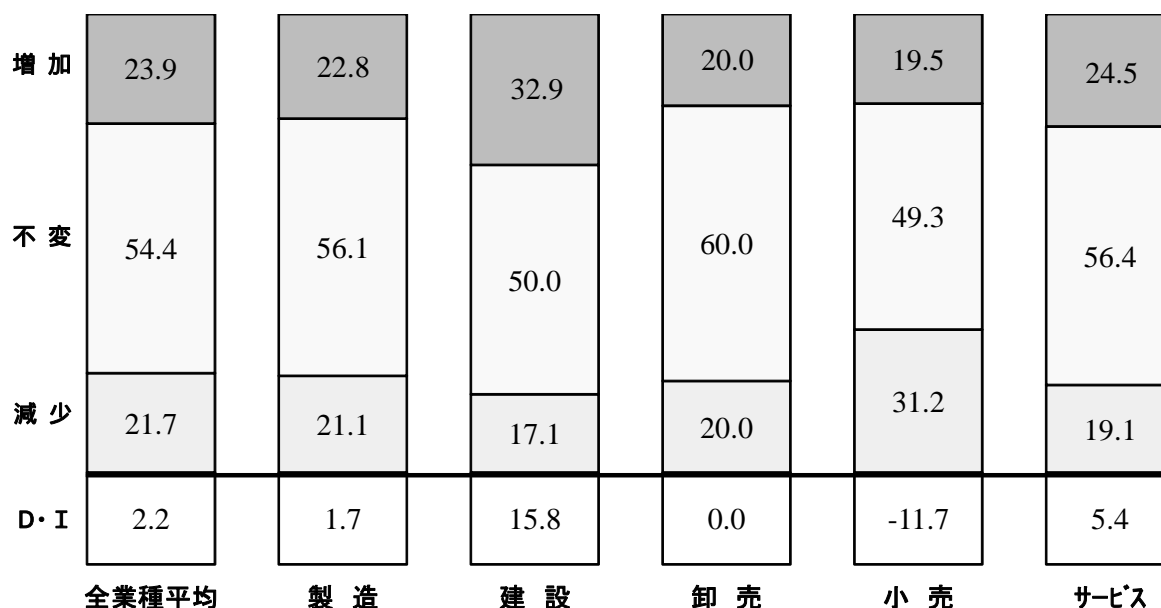
来期の業況見通し(今期比)



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成24年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し(前年同期比)

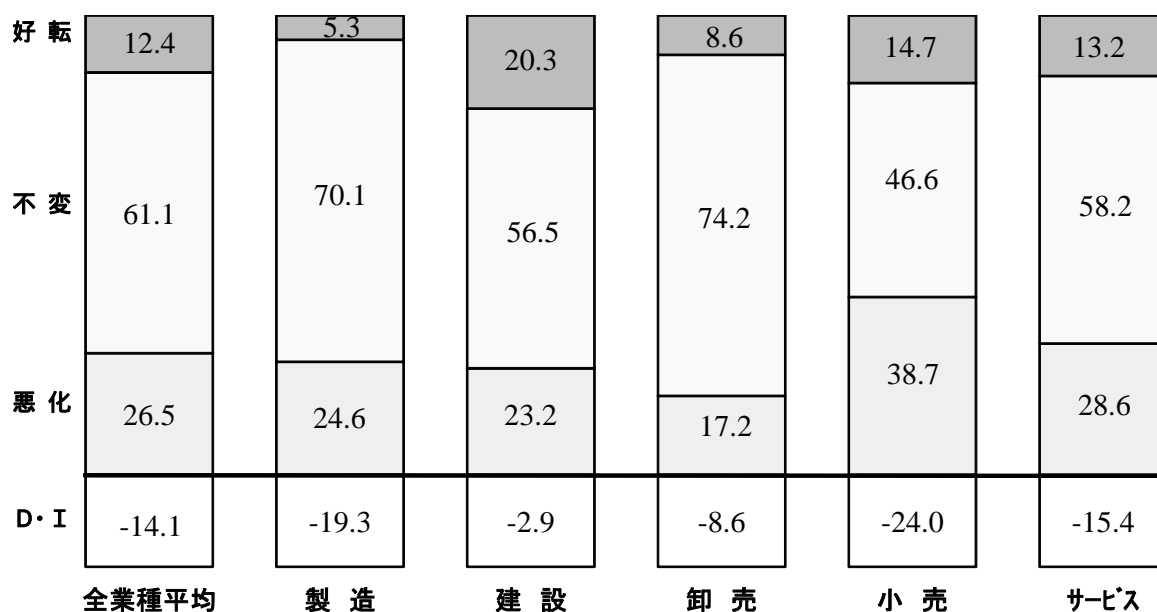


全業種平均でD・I値2.2〔今期の売上高（前年同期比 7.2）より9.4ポイント改善する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【来期】

来期の採算見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 14.1〔今期の採算（今期の水準 7.4）より6.7ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	21.1	15.9	16.9	8.2	11.0	14.6
土地	0.0	0.0	10.0	16.7	0.0	5.3
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	30.0	33.3	10.0	14.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	58.3	27.3	20.0	16.7	40.0	32.5
車両運搬具	33.3	27.3	40.0	16.7	40.0	31.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	33.3	9.1	0.0	0.0	20.0	12.5
O A 機器	8.3	54.5	30.0	50.0	30.0	34.6
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.3	9.1	20.0	16.7	20.0	14.8
実施しない	78.9	84.1	83.1	91.8	89.0	85.4

来期、新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**14.6%**となっており、
今期(14.4%)に比べ上回る見通しとなっている。

業種別では、製造〔今期17.9% 21.1%〕、建設〔今期20.0% 15.9%〕、卸売〔今期
6.8% 16.9%〕、小売〔今期9.7% 8.2%〕、サービス〔今期17.7% 11.0%〕となってい
る。